

ASK ニュース

Vol.0227

2016年11月14日(月)

担当：MS事業部 北野

〒460-0002

名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル 1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

説明上手になるためには

はじめに

ビジネスを行う上で、説明する機会は多くあります。自分が理解することと、説明をして相手に理解してもらうことは、全く別の話です。これを混同して、自分視点で説明をすると相手に理解してもらえません。今回は、「説明上手になるためには」というテーマについて見ていきましょう。

説明ベタな人の話し方

説明ベタな人の話し方には、以下のような原因があります。その原因を知ることで、説明の仕方を改善できます。

①話すことに不慣れ

緊張して早口である。

「えー」や「えっと」が多く聞き取りづらい。

②話す内容に問題がある

話が抽象的である。

専門用語など一般的でない言葉を使い相手が内容を理解できない。

③話の展開の仕方に問題がある

時系列に詳細まで話す、話が脱線しがちなど、話す順番が不適切なため相手が全体像をつかめない。

説明上手な人の特徴

説明上手になるには、コツをつかむことが大切です。説明上手な人の特徴を参考にコツをつ

かみ意識的に行動できれば、苦手な説明が苦にならなくなります。

①結論（大枠）から話す

最初に結論（大枠）から話すことにより、何についての話なのか相手に明確に伝わり、相手の理解が深まる。

②相手の基準に合わせ話す

相手視点に徹し、相手が理解できる言葉を選び話す。また、相手が興味を持つ話題を交えて説明をすると、より理解してもらえる。

③伝えたいポイントにしぼってシンプルに話す

あれもこれも伝えたいと欲張ると本当に伝えたいポイントが外れてしまうので、本当に伝えたいポイントのみに絞って話す。

④自分で理解してから話す

自分で理解できていない内容は、かみ砕いたり、例を挙げて説明したりと多方面からの説明が出来ないので、自分の中で理解してから話す。

おわりに

上司への報告、部下への指導、お客様への情報提供など説明は、日常的に行っています。このように説明する機会は多くあるので、説明上手になれば仕事の効率も上がり、コミュニケーションも円滑になります。

説明が苦手だと思っている人もコツを意識することで、苦手意識をもっていた説明の仕方が向上します。